

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数       |
|--------------------------------|-----------|
| 理念に基づく運営                       | 11        |
| 1. 理念の共有                       | 2         |
| 2. 地域との支えあい                    | 1         |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3         |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3         |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2         |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援              | 2         |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1         |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1         |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント       | 6         |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1         |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2         |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1         |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2         |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援          | 11        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9         |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2         |
| <b>合計</b>                      | <b>30</b> |

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 事業所番号 | 4675200127             |
| 法人名   | 株式会社 アサヒ産業             |
| 事業所名  | グループホーム「いこいの里」花いちもんめ   |
| 訪問調査日 | 平成 19 年 7 月 31 日       |
| 評価確定日 | 平成 19 年 10 月 11 日      |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会 |

#### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月7日

## 【評価実施概要】

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 事業所番号 | 4675200127                             |
| 法人名   | 株式会社 アサヒ産業                             |
| 事業所名  | 「いこいの里」花いちもんめ                          |
| 所在地   | 鹿児島県始良郡加治木町木田4888-4<br>電話 0995-62-2983 |

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会         |
| 所在地   | 鹿児島市城山1丁目16番7号                 |
| 訪問調査日 | 平成19年7月31日   評価確定日 平成19年10月11日 |

## 【情報提供票より】(19年5月12日事業所記入)

## (1) 組織概要

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 開設年月日 | 平成12年3月23日                 |
| ユニット数 | 1 ユニット   利用定員数計 9人         |
| 職員数   | 11人   常勤3人 非常勤8人 常勤換算5.45人 |

## (2) 建物概要

|      |                |
|------|----------------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート 造り    |
|      | 4階建ての 階 ~ 1階部分 |

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |     |       |   |
|---------------------|------------|----------------|-----|-------|---|
| 家賃(平均月額)            | 36,000 円   | その他の経費(月額)     | 無   | 実費    | 円 |
| 敷金                  | 有( 円)      | 無              |     |       |   |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)      | 有りの場合<br>償却の有無 |     | 有 / 無 |   |
| 食材料費                | 朝食         | 200 円          | 昼食  | 300 円 |   |
|                     | 夕食         | 300 円          | おやつ |       |   |
|                     | または1日当たり 円 |                |     |       |   |

## (4) 利用者の概要(5月12日現在)

|       |        |      |     |    |     |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名     | 男性   | 名   | 女性 | 9名  |
| 要介護1  | 3名     | 要介護2 |     | 1名 |     |
| 要介護3  | 2名     | 要介護4 |     | 3名 |     |
| 要介護5  |        | 要支援2 |     |    | 名   |
| 年齢    | 平均 83歳 | 最低   | 79歳 | 最高 | 91歳 |

## (5) 協力医療機関

|         |         |
|---------|---------|
| 協力医療機関名 | 加治木温泉病院 |
|---------|---------|


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

加治木町の西部に位置し、ホームの庭からは雄大な龍門の滝が眺められ、周りは田園地帯が広がるのどかな所である。医療・福祉法人施設の敷地内にある4階建ての職員宿舎の1階部分を改装した和風造りの佇まいである。職員は「今までの生活が繋がっている」ということを中心において、ケアにあたっている。また、地域の中にとけ込んでいこうという意欲があり、老人クラブとの交流やホームに地域の方々を招いて食事を開催するなど、地域に開かれたホームである。

## 重点項目への取り組み状況

|      |                                                                                                                                         |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)                                                                                                    |
|      | 勤務ローテーションは改善され、利用者の生活の流れの中で忙しい時間帯に、職員を配置している。前回の評価では、数個の要改善があったが、管理者の交代時に体調不良により十分な引き継ぎができず、これから管理者と職員が協力して改善に向けて取り組むところである。            |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)                                                                                                             |
|      | 管理者と職員が評価の意義をよく理解し、全員で自己評価に取り組んでいる。                                                                                                     |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)                                                                                                |
|      | 家族からの要望をうけ、駐車場の入り口を舗装し屋根をつけたり、入院しないための取り組みを介護保険課の方によりアドバイスを受けていたりしている。消防署の方が参加された時は、避難訓練の必要性を認識し、同敷地内の医療・福祉法人施設と合同による避難訓練を計画しているところである。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)                                                                                                    |
|      | 運営推進会議への家族の参加が多いので、そこで意見・要望など取り上げている。職員による苦情委員会も設置されており、幅広く家族の意見・苦情を出して頂けるように配慮している。                                                    |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)                                                                                                                |
|      | 老人クラブの七夕・敬老会などに参加している。また、地域の高齢者の方をホームに招いて食事会などを開いている。                                                                                   |

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                    | ( 印 ) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                               |
|-----------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>     |    |                                                                                        |                                                                                    |       |                                                                                |
| 1. 理念と共有              |    |                                                                                        |                                                                                    |       |                                                                                |
|                       | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 「本人と家族が安心でき、笑顔のある暮らしを支えます」を、理念の中心に置いている。                                           |       | 理念を作り替えることを検討しているところであり、地域密着型サービスの意義を確認し、職員全員で、地域の方々との関わりあう理念を作りあげていくことを期待したい。 |
|                       | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 朝のミーティング時に理念を唱和して、職員全員で意識付けをしている。                                                  |       |                                                                                |
| 2. 地域との支えあい           |    |                                                                                        |                                                                                    |       |                                                                                |
|                       | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 町内会に加入している。老人クラブの集会に参加したり、地域の高齢者をホームに招いて食事会を開くなど、積極的に交流を行っている。                     |       |                                                                                |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |                                                                                        |                                                                                    |       |                                                                                |
|                       | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 管理者と職員全員で自己評価に取り組んでいる。昨年の外部評価をうけて、一部改善がなされた部分はあるが、記録が残っていない。                       |       | 昨年の外部評価をうけて、改善内容を把握できていない所があり、改善計画シートを活用し、継続的に改善が行われることを、期待したい。                |
|                       | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 昨年の8月から運営推進会議を開催している。消防署の方の参加を頂いた時に、敷地内にある協力病院との合同での避難訓練を提案され、今年度中に訓練を行うことを計画している。 |       |                                                                                |

| 外部              | 自己 | 項目                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                      | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                              |
|-----------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 特に事業所からの働きかけは、行われていない。                                                                               |     | 運営推進会議以外でも市の担当者に事業所の考え方を伝える機会を作り、地域の方々に食事会に招いたときなど担当者に来てもらうなど、積極的な取り組みを期待したい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |                                                                                                     |                                                                                                      |     |                                                                               |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 月に1回、苑だよりと健康だよりを発行し、状態に変化があるときには、電話連絡を行っている。金銭管理は入金時に、家族に確認してもらいサインをいただいている。                         |     |                                                                               |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 運営推進会議で家族の意見、相談を聞いて、改善を行っている。ホーム内に苦情委員会をおき、何でも気軽に言ってもらえるような雰囲気作りを行っている。                              |     |                                                                               |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 新しい職員が入る場合は、認知症について勉強してもらい、利用者との関わりを深めてもらうように、夜勤時の体制などに配慮している。                                       |     |                                                                               |
| 5. 人材の育成と支援     |    |                                                                                                     |                                                                                                      |     |                                                                               |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 職員研修の年間計画は作成されていないが、職員が均等に研修に参加できるように、配慮している。また、研修に参加した職員は、朝のミーティングで発表し、レポートを提出して、職員全員が閲覧できるようにしている。 |     |                                                                               |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 町内4つの事業所との交流があり、オーナー、管理者同志の交流が行われている。今後、職員同志の交流や勉強会も検討されている。                                         |     |                                                                               |

| 外部                               | 自己 | 項目                                                                                                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                           | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                 |
|----------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |                                                                                                                   |                                                                                                           |     |                                                                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応        |    |                                                                                                                   |                                                                                                           |     |                                                                                   |
| 12                               | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>家族に先に見学してもらい、次に本人と一緒に来ていただいている。お茶や食事を共にしながら、徐々に馴染んでもらえるように工夫している。</p>                                  |     |                                                                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援        |    |                                                                                                                   |                                                                                                           |     |                                                                                   |
| 13                               | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                        | <p>日々の食事作りでは、味付けや後片付けなどを行ない、野菜作りや味噌作りなどでは、得意分野をいかしてアドバイスをうけたり、利用者と共に過ごし支えあう関係が築かれている。</p>                 |     |                                                                                   |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |                                                                                                                   |                                                                                                           |     |                                                                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                      |    |                                                                                                                   |                                                                                                           |     |                                                                                   |
| 14                               | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>                                            | <p>どのように生活したいのか、本人や家族に確認したり、表情などからくみ取って、起床時間を遅らせると共に食事時間も遅らせるなどしている。また、時に部屋で食事をとるなど、本人の意向にそった支援をしている。</p> |     |                                                                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し   |    |                                                                                                                   |                                                                                                           |     |                                                                                   |
| 15                               | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>         | <p>介護計画作成のためのスタッフミーティングは行われていない。</p>                                                                      |     | <p>気づきや職員の意見、家族の意見を取り入れる工夫をし、職員全員でモニタリング、カンファレンスを行い、利用者本位の介護計画を作成できるように期待したい。</p> |
| 16                               | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>     | <p>3ヶ月から6ヶ月ごとの介護計画の見直しは行われているが、状態が変化した場合の介護記録が整理されていないことと、職員によるカンファレンスが行われていない。</p>                       |     | <p>状態が変化した際に必要な対応を、職員全員で共有し、安定していても月に1回、スタッフの意見を取り入れ見直しが行われることを期待したい。</p>         |

| 外部                          | 自己 | 項目                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                           |
|-----------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |    |                                                                                            |                                                                                                  |     |                                                                             |
| 17                          | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は行われている。                                                                 |     | 今は、通院介助の送迎にとどまっているが、同敷地内にある病院との連携を密にし、ゆくゆくは看取りまで行いたいと考えているので、これからの活動に期待したい。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |    |                                                                                            |                                                                                                  |     |                                                                             |
| 18                          | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。また、受診や通院は本人や家族の希望に応じて対応している。                                              |     |                                                                             |
| 19                          | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 急変時に職員が対応できるように、緊急連絡網は統一されている。終末期対応は、これから検討していくところである。                                           |     |                                                                             |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援     |    |                                                                                            |                                                                                                  |     |                                                                             |
| 1. その人らしい暮らしの支援             |    |                                                                                            |                                                                                                  |     |                                                                             |
| 20                          | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 個人情報保護法の勉強会を行っているが、記録されていない。宛だよりの写真掲載については、家族の同意を得ている。                                           |     |                                                                             |
| 21                          | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 本人のペースで生活できるように、全職員心がけている。ひとりひとりの起きる時間や寝る時間は自由であり、入浴もふたりで入りたい人は、入ってもらっているなど、できるだけ個別性のある支援を行っている。 |     |                                                                             |

| 外部                           | 自己 | 項目                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                               |
|------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |                                                                                |                                                                                                  |     |                                                                |
| 22                           | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食事の買い物は、散歩を兼ねて野菜販売所に行ったり、味付けや後片付けなど、それぞれが出来ることを行っている。                                            |     |                                                                |
| 23                           | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 仲の良い利用者同士で一緒に入浴したり、入浴拒否する利用者には、職員を替えて声かけするなど工夫をして、楽しく入浴できるように支援している。                             |     |                                                                |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |                                                                                |                                                                                                  |     |                                                                |
| 24                           | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 活花が得意な方には、季節折々の花を生けてもらい、味噌作りや畑づくりなどそれぞれの経験や知恵を發揮する場面を作っている。レクレーションは、決めてはいるがその日の雰囲気や希望で変更することがある。 |     |                                                                |
| 25                           | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 利用者の希望に応じて、買い物やドライブ、お弁当を作ってお花見や老人クラブにも参加したりしている。ひとりで外出が困難な人には、車イスで同敷地内にある施設の売店や休憩所などに出かけている。     |     |                                                                |
| (4)安心と安全を支える支援               |    |                                                                                |                                                                                                  |     |                                                                |
| 26                           | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 表玄関をでるとすぐに階段があるので、危険防止のために施錠していることが多い。                                                           |     | 日常的に鍵をかけないことを前提に、職員全員でどうしたらよいかを検討される事を期待したい。                   |
| 27                           | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 同敷地にある病院や施設と一緒に、年2回火災を想定した避難訓練を行っている。消防署に直接通じる火災装置を設置している。                                       |     | 非常用食料、備品の確保と、火災以外の地震、台風を想定した避難訓練を、グループホーム独自で行うよう検討されることを期待したい。 |

| 外部                        | 自己 | 項目                                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                            | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                    |
|---------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |                                                                                                          |                                                                                                                            |     |                                                                      |
| 28                        | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 1日の摂取カロリーは1400～1500kcalを目安にしている。摂取量の足りない利用者には、補助食品で補っている。水分1日1200ccを目安にしているが、昼間の摂取量の記録がない。夜7時には、栄養補給をかねて200ccの牛乳を温めて飲んでいる。 |     | 献立は利用者の希望を聞いたりして職員が作っているが、摂取カロリーや栄養のバランス等、栄養士の専門的アドバイスを受けられることが望ましい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |                                                                                                          |                                                                                                                            |     |                                                                      |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |                                                                                                          |                                                                                                                            |     |                                                                      |
| 29                        | 81 | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングからは庭が見渡せ、大きな窓からはやさしい光が差し込んでいる。七夕飾りが置かれて、季節感を取り入れる工夫をしている。また、職員は利用者に対して声かけのトーンが大きく成りすぎないように、配慮している。                     |     |                                                                      |
| 30                        | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 居室には馴染みのタンスや仏壇が置かれ、家族の写真を飾ったり、好きな灯籠などを置いて、利用者の居心地のよさに配慮している。一居室が物品保管庫になっている。                                               |     | 利用者の居室に事業所の物品が一部保管されている所があるので、カーテンを付けるなど境を作る工夫が望ましい。                 |